第 3 回ヘルスデータアナリティクス・マネジメント研究会

ヘルスビッグデータを活用した健康経営

企業・自治体でいま、どこまで進んでいるのか

【主催】 一般社団法人ヘルスデータサイエンティスト協会,慶應義塾大学 SFC 研究所共同研究「ICT を活用した予防医療の高度化」

【共催】 大学共同利用機関法人　情報・システム研究機構統計数理研究所共同研究「医療・看護・保健分野におけるデータサイエンティスト育成のためのシステム構築の検討」

【後援】 統計数理研究所 医療健康データ科学研究センター、日本統計学会統計教育分科会、オムロンヘルスケア株式会社、株式会社医療経営研究所、株式会社ウォームハーツ、株式会社社会保険研究所、株式会社 JMDC、株式会社タクミインフォメーションテクノロジー、株式会社日本科学技術研修所、株式会社バイタルネット、株式会社フェース、株式会社分子生理化学研究所、株式会社メディカルデータ、SAS Institute Japan Ltd. スリーワンシステムズ株式会社、楽天生命保険株式会社

【日時】2019 年 5 月 17 日(金)　11:00～16:25

【場所】慶應義塾大学三田キャンパス西校舎ホール

【開催趣旨】

近年、保健・医療・介護等の領域において収集・蓄積されるリアルワールドデータを利活用し、新しいヘルスサービスの価値創造に如何に結びつけるのか、そのためのデータアナリティクスの方法やマネジメント方式の研究が注目されています。しかし、まだ具体的な分析事例の検討や教育の方法が標準化されていないのも事実です。 本研究会では、医療健康系関連の従事者やデータアナリティクスに広く関心をもつ方々を対象に、特別講演とデータ利活用の事例発表をベースに、最近の動向と方法論を、質疑を通して講演者に平易に解説していただきます。今回は、「健康経営」をテーマに、「データヘルス改革」の中で目指されている個人の健康状態や予防・健康増進等への取組状況に計量的な評価を与える健康スコアリングの活用や各種ヘルスデータベースを連結した健康情報プラットフォームの構築状況等が、民間企業や自治体でどこまで進んでいるのかに関して講演をお願いしました。

ヘルスケア領域の統計解析に関心のある医療専門職者・医事関連職者・ヘルスケア関連研究者・ヘルスケア関連会社関係者、実務家、学生など、ご関心をお持ちのみなさまには是非ご参加のほどお願いいたします。

【プログラム】

司会：丹野清美（ヘルススデータサイエンティスト協会 専務理事）

11:00~11:05　開会挨拶　　高木安雄（ヘルスデータサイエンティスト協会 理事長）

座長：中島孝（国立病院機構新潟病院院長）

11:05~11:50　特別講演Ⅰ　鈴田　朗（コニカミノルタ株式会社 人事部
健康管理グループリーダーコニカミノルタ健康保険組合常務理事)

『データの「見える化」で進めるコニカミノルタの健康経営
～人財力の最大化によって持続的成長を成し遂げるために～』

概要：弊社では、トップのコミットメントの下、コラボヘルス体制で「健康中期計画」を策定・実行し、データ活用による「見える化」に軸足を置いた「健康経営」に取り組んでいる。そのきっかけや「健康経営」の位置付け、具体的な施策内容（フィジカルリスク者対策、メンタルヘルス対策、健康ムーブメント等）や成果について、各種データも交えながら、分かりやすく解説する。

12:00~12:50　　特別講演Ⅱ　福岡市 保健福祉局 総務企画部 政策推進課

『ビッグデータを活用した地域包括ケアシステムの実現～地域包括ケア情報プラットフォーム～』

概要：データ集約・データ分析・在宅連携支援・情報提供の４つのシステムで構成される情報通信基盤「福岡市地域包括ケア情報プラットフォーム」を構築し、積極的なビッグデータの活用により「健康寿命の延伸」「地域経済の活性化」「行政コストの削減」を同時に実現する事業。在宅ケアの充実（介護離職減少・健康寿命延伸）により高齢者の就業率、エビデンスに基づく医療・介護予防の推進により医療費（後期）の増加を改善、医療費負担軽減の実現を図る。地方自治体統計利活用コンテスト局長賞受賞。

12:50~13:50　　昼休憩

座長：渡辺美智子（慶應義塾大学大学院健康マネジメント研究科教授）

13:50~14:40　　特別講演Ⅲ　株式会社 JMDC（旧社名：日本医療データセンター）

『健診・医療ビッグデータによる個人健康スコアリング（健康年齢）のモデル構築と活用』

概要：健康年齢®は 160 万人分の健診データとレセプトデータをもとに開発された、個人の健康度をスコアリングする統計モデルである。健康診断の結果を使い、個人の健康状態が何歳相当か判定する理解しやすい指標であるため、健診機関や全国の自治体での活用が広がっているほか、生命保険の料率計算等にも利用されている。

座長：南美穂子（慶應義塾大学理工学部教授）

14:50~16:20　ヘルスデータアナリティクス事例・ヘルスデータサイエンティスト認定試験

①健診・レセプトデータ活用事例　佐藤智絵（慶應義塾大学大学院健康マネジメント研究科特任助教）
「介入すべきターゲットは誰？～健康診断・レセプトデータの活用事例～」

②データアナリティクス解説　中村和繁（慶應義塾大学大学大学院理工学研究科）
「統計的有意差(p 値)をめぐる最近の論争について：なぜ研究者たちは異議を唱えているのか（仮)」

③ヘルスデータサイエンティスト認定試験　丹野清美（ヘルススデータサイエンティスト協会専務理事）
「ヘルスデータサイエンティスト認定資格試験について」

16:20~16:25　閉会挨拶　　須江雅彦（滋賀大学副学長）